

## 2. <オイルボールの話>

下水管の調査で中に入ると、冬は暖かく、夏は涼しい空間となっています。子供のころワクワクした洞窟のように、なかなか快適な空間とは行きませんが、スリリングなところですよ。

よく、呼び径 800 ミリ以下は人が入ってはいけないということを聞きますが、労働基準監督署に問い合わせたところ、「あれは工事中の話で、土砂崩れをしたときの安全基準で、出来上がった下水管には適用されません」とのことでした。

そこで安心して入ったのですが、やはり径が小さいと腰が痛くなったり、赤ん坊のようにハイハイしなくてははいけません。そんな時、黒くないのにズブッと手がめり込むことがあります。油の塊です。柔らかめの粘土のようで、そんなに気持ちの悪いものでもありません。これが剥がれて下水管から出るといわゆる「オイルボール」となるのです。

エネルギー資源の不足している日本、回収して有効利用しようというのは悲しいサガでしょうか。

< 三品 文雄 >

※No. 2号 (2002/5/17) に掲載